



ACCENTURE CAREER

VIDEO TRANSCRIPT

アクセンチュアは、人々の多様化する働き方へのニーズに対応し、働く場所にとらわれない就業形態を推進するため、2022年8月から「ロケーションフレキシビリティ制度」を導入しました。当制度を希望する社員は、申請が認められた場合、勤務地から通勤圏内に居住する必要がなくなり、日本全国自由に居住地を選択することが可能となります。

それでは、実際に制度を活用している社員をご紹介します。

妻が広島で仕事をしていて、単身赴任のような形で生活していたんですけども、一緒に暮らせればと思い、制度の活用を申し込みました。今はAIアーキテクトとして、金融機関のお客様に対して、最適な金融商品を提案するモデルを作るというプロジェクトに参画しています。その他にも管理職として、AIグループの組織運営に関わる様々な業務を行っています。

入社時より制度を利用し、地元香川で子育てをしながら働いています。元々香川県内の会社でSIerとして通勤しながら仕事をしていたんですが、ちょっと子育てと仕事の両立が難しいなって感じる部分があって転職活動を始めました。

Copyright © 2023 Accenture

All rights reserved.

Accenture and its logo

are registered trademarks

of Accenture.

ACCENTURE CAREER

VIDEO TRANSCRIPT

その中で今までやっていたRPAの部分が生かされるとともにフルリモートで勤務できるといった点でアクセントチュアに興味を持って採用いただいた流れです。

BPO業務の自動化プロジェクトに所属して、RPAなどのソリューションを用いた業務改善を行っています。

私は2020年の中途入社になりますが、制度開始の8月から適用しております。

現在は大手メーカー様のECサイト保守、エンハンスを行うプロジェクトでプロジェクトマネジャーを担当しております。UIUXの改善や、新機能の開発、POCの対応など複数の案件を束ねてプロジェクトを推進する役割です。

移住をすることで妻とより安心して子育てができる環境を整えたいと考えました。通勤時間が削減されますので、家族や趣味、スキルアップに時間を充てたり、犬を飼ったり西日本の方をいろいろ旅してみたいなと考えました。

入社時のトレーニングでは、同期とグループチャットを作成して、お互い質問し合うなどしていました。プロジェクトアサイン時は、上司に自分の勤務上の制約を事前に共有して、現地での対応が必要なときは首都圏在住の別のメンバーに対応してもらうなどフォロー体制も整えてもらいました。

ACCENTURE CAREER

VIDEO TRANSCRIPT

パフォーマンス管理は移住前の在宅ワークと変わりありません。リモート主体で業務を進めるため、認識齟齬が発生しないように、資料や説明準備には念を入れます。

通勤がなくなった分、時短勤務からフルタイム勤務に戻ることができました。

地方在住でも首都圏のような大きな案件に携われて、子育てと両立しながら自分のスキルアップもできているという点で非常に充実した生活を送っています。

夕方にはチームメンバーとその日にあった内容ですとか、お客様と打ち合わせをした結果を整理して、認識合わせを丁寧に行っています。チームをリードする立場でフルリモートと言うと驚かれることもあるんですけど。コロナ前からアクセンチュアはリモート会議の文化が浸透していたので、今も全てオンラインで行うことに抵抗はありません。

近々新しいメンバーとの顔合わせのためオフィスに出社予定です。久々に会えることを楽しみにしております。